

レジュメ5月15日（宮城県）



昭和49年設立 築47年 公民館敷地面積 1,036㎡
2階建て鉄筋コンクリート 常駐職員 1名

世代をつなぐ

～「ひと」・「まち」・「公民館」が大好き～

広島県大竹市立玖波公民館 河内ひとみ

<本日のお話の内容>

現場目線で公民館の実践 「公民館の改革」「まちづくり」を行い感じたこと

● 3つのブレない信念（キモ）

① **「現場主義」** 現場目線で一緒に汗を流す。

② **子ども、若者も巻き込む「多世代交流」**

③ **世代をつないで「継続」** 伝え続けたい**「人と人のつながり」**

● ウィズコロナにおける「新しい学びのスタイル」とは？！

● なぜ？コロナ禍でも自主事業を止めずに地域と活動を継続出来た？

● 現場での実践ポイントは？（現場目線）

● コロナ明けの今、社会教育のチャンス

● 公民館職員が出来る事・果たすべき役割

（玖波公民館職員 河内ひとみ）

まちが大好き ひとが大好き 公民館が大好きです。

この想いが地域の人に伝わっていくことを願いながら「公民館の役割」を広めていきたい。

「未来のビジョン」を描きながら、一緒に汗をかき「人と人のつながり」を楽しみたい。




世代をつなぐ 現在進行形で
展開中
 ～「ひと」・「まち」・「公民館」が大好き～
 広島県大竹市立玖波公民館 河内ひとみ



コロナ禍でも多世代交流を継続

学びのカフェとは？

居心地がよくゆったりできる空間
自由に語り合うスタイルの活動

おしゃれな空間

公民館のイメージチェンジ



- ・公民館が核(ブレないスタンス)
- ・地域の新しい担い手が育つ
- ・ふるさとを愛する心が芽生える



タイムリーな世の流れにアンテナを立て
地域の方の声に**耳を傾け**
とにかく**みんなで声**を掛け合う



継続する



コロナ時代に寄り添う



次世代に伝えていく事が
公民館の使命



「学び」を止めない



**伴走して結果として
バトンタッチ**